

令和元年 10月16日

三三郎市国際文化交流協会 会長 高野 功

1. におとりのプラザに予有図書受取  
カウンターオープ記念イベント!! <講師> 長谷川 功氏



<演題> 世界は広く美しいけれど、  
知れぬ一長谷川功氏が生きた  
人と風景

<経歴> 1952年、北海道釧路市生まれ  
・1980年より世界の紛争地やアマゾン  
などの現場を訪れる。

アフガニスタン抵抗運動の指導者  
スード、エルサルバドルの難民キャンプ  
の少女へスースを長いスパンで取材

<フォトジャーナリスト>  
長谷川 功氏

<土門拳賞 日本写真協会 奨励賞  
講義発表賞 英文賞 など 受賞>

フォトジャーナリストになるきっかけ  
★高校時代図書室に通う中で『史小説 煌皇(ひんぐ)』  
井上靖作に出会う。  
大学に入り、3年生の時、1年間休学し写真を探り始める。  
ニルクロードへ、道教長との出合いが最大の転機。

→ 自ら撮影した生き方をしている。

↓  
戦場写真撮影を目指すが方向変換して内戦の場  
人の暮らしを撮影するようになる。

② エルサルバドルへ



★エルサルバドルで5才の女の子に出会う。  
シホ玉を知らなかった。  
「食料がない。  
「お腹が痛い。  
「病気が治らない」  
つらさを伝える  
が、言葉が通じない  
ので。」

★生活がきつい。→週1回夜学に行ける。  
お母さん再婚(父親戦死)おしんちゃん、おはおはさん  
買ってくれる。



難民キャンプへ!!  
少女はいない(叔父さんの所で  
働いている)

↑  
お父さんおけんか(一人でも育つ)

＜難民キャンプの風景＞



＜夜学で真剣に学ぶ少女!!＞

③アマゾンへ!!  
=グエネセエラとブラジルの国境



近く=  
＜森が焼けていく＞

★自然発火による森が、火の海に  
枯れてしまっている

＜新母親!!＞

↓  
自分たちの文が焼けてしまう。

★自分たちの生きを守る。  
外国人は一度も来た事がない。

※ジャマンマン  
（「天と地をわなぐ」  
「生と死をわなぐ」）

→伝言(痕)をうすめていた少女。懐い以下は本物の  
名前を言わない

悪いジャマンマンの311をかける(お)

→小キは変人を見て喜ぶ。(我々大人は大きな変人か  
喜ばない)

存在するのは価値がある。  
無くなるのは何もない!

★この子はどんな子なんだろう。

→根子かぶか(未だ名前を付ける。(達た前へ行く。↳名前を変える)

④チツト遊牧民

★羊を飼って生計している。→~~果菜も売りに~~街へ、~~羊~~ 薪の売りに出かけていた。

⑤ Eskimo の世界



★トケイによって支えられている生き物だっている。(イグ、ネズミ)  
↓  
氷で食っていくの？

< Eskimo の少年 >

ほくか世界各地で命をけず  
みんなまわりの人とつながるための  
種のようなものも持っていた。  
荒波に売れず、  
雨や嵐にもなきが持たず  
炎天下の強い日差しにも。  
凍るような寒さにも  
ぬれぬれは枯れぬ根。  
ほくたちはそんな根を  
どうたらのはしていきるのだらう。

< アト生活 >

- ① ソリで遊ぶ
- ② トケイの肉を食する
- ③ 血を飲む
- ④ 犬ソリで氷原を  
人が飲んでいたから  
毒か!!
- ⑤ 3家族で400頭村  
を飼っている
- ⑥ 夏、2月21日移動
- ⑦ 3ヶ月、地帯が見る、  
地草あり。

< 長倉 羊女氏の 想い >

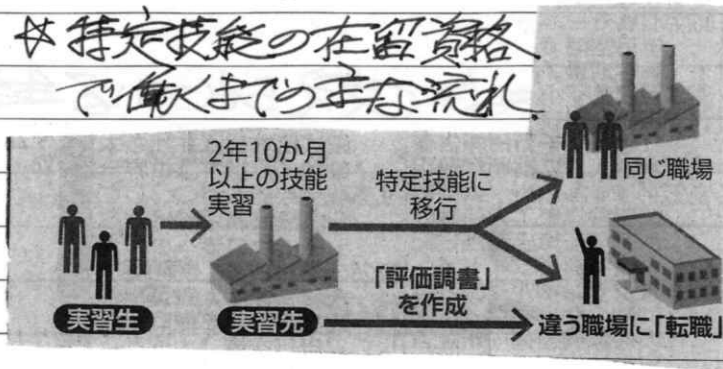
### 2. 転職できない実習生!!

★外国人労働者の受け入れを拡大する新たな制度で外国人技能実習生が「転職」できない事態が相次いでいる。

職場が変わる ← 評価調書(実習状況をおさめたもの)

↓  
外国人材の受け入れが 進まない。  
↑  
<実習先> ①調書の作成を拒む  
②倒産

### ★特定技能の在留資格で働くための流れ



### <特定技能>

★2年10か月以上の実習経験がある実習生は同じ職種なら無試験で移行できる。

↓  
★5年から3年間の半導体などの機械加工会社で実習生として働いた外国人労働者(5才) <例>

↑(調書作成)  
特定技能で再び日本で働く!

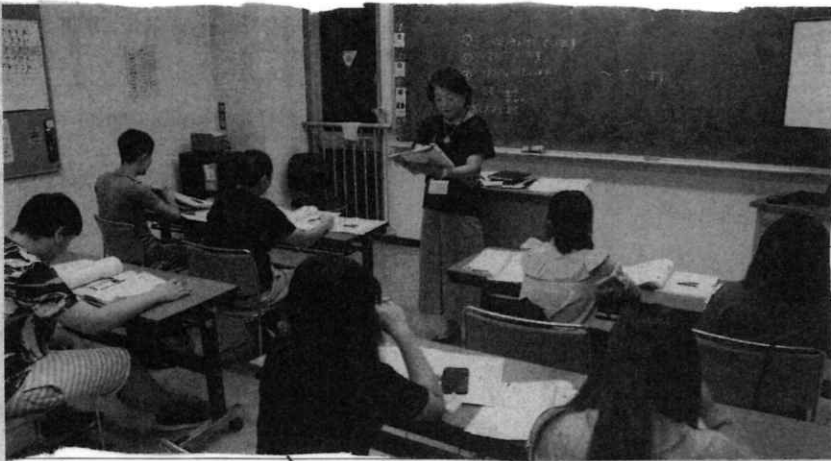
↓  
元会社で調書作成依頼が断られた。



<副支配人の大黒さんから、ホテルの仕事について教わるアウンさん>

→政府< 特定技能の外国人受け入れを最大1万7500人に拡大が来月3日現在で27人に止まっている

### 3. 日本語を学ぶ場、もっと多く!!



★外国籍の子供たちに  
教育の場を提供する  
動きが言及されて  
いる。



着年度(外国人労働者  
受け入れを拡大が  
伊に始まって半年



家族と日本(暮らす)  
外国人労働者の増加

<夜間中学校、茨中(陽春分校)は  
外国籍の生徒が日本語を学ぶ場  
になっている。>



★埼玉県川口市在住の外国人は約3万  
7700人で市の6%を占める。  
今年の伊夜間中学校(各教科と  
日本語が学べる)を新設。県内の  
各自治体から70名が来ている。



ダビン・カムノーク(18才)進学を目指  
す。埼玉県から埼玉県下家族と暮  
らす。夜間中学校に入学。(英語得意)  
読み書きも上手。看護師を目指  
(予定)。

YSC/ローヤルスクール  
イタナ外語学院の授業

- 10月6日(日) 吉川フラットショップアパレル 10:30 新 11:00 蕨台(伊)
- 16日(水) 交際部会 (7:00~9:00) 蕨市市民センター
- 18日(金) 市長のついでに(7:00~9:00) 高工会館
- 22日(火) 松戸市交際部会 見学 (8:00) 蕨市市民センター
- 25日(金) 市長のついでに(7:00~9:00) 高工会館
- 30日(水) 推進部会 (7:00~9:00) 蕨市市民センター

- 視点の1) 外国の人達との絆をより一層深めていこう。
- 視点の2) 日本の伝統文化を大切にしよう。
- 視点の3) 近隣の市町村の国際交流協会(連)と交流を深めよう。